公益財団法人
神奈川産業振興センター

令和元年 12 月 12 日
記 者 発 表 資 料

業況 DI は 5.6 ポイントの低下、4 期連続で悪化

～令和元年 10-12 月期中小企業景気動向調査結果～

公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）では、四半期ごとに県内中小企業の景気動向等を把握するため、県内中小企業 2,000 社を対象とした「中小企業景気動向調査」を実施しています。

令和元年 10-12 月期の調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

◇要　旨

○総合の業況 DI は、前期比 5.6 ポイント低下の▲33.5 となりました。

○経営状況では、売上 DI は前期比 0.9 ポイント上昇の▲24.8、また、採算 DI は同 0.1 ポイント低下の▲31.8 となりました。

○業種別の業況 DI では、製造業は前期比 6.6 ポイント低下の▲30.7 となりました。中分類では、一般機械は同 13.6 ポイント低下の▲31.5、電気機械は同 2.5 ポイント低下の▲35.8、輸送用機械は同 8.7 ポイント低下の▲32.3 となりました。

○建設業の業況 DI は、前期比 1.4 ポイント上昇の 3.1 となりました。

○商業・サービス業の業況 DI は、前期比 7.5 ポイント低下の▲44.6 となりました。商業・サービス業の内訳を見ますと、卸売業は同 18.7 ポイント低下の▲34.8、小売業は同 3.0 ポイント低下の▲58.0、飲食店は同 13.5 ポイント低下の▲53.5、サービス業は同 5.7 ポイント低下の▲23.9 となりました。

○今後の総合の業況 DI を見ると、3 ヵ月後は現在比 1.5 ポイント上昇の▲32.0、半年後は同 1.6 ポイント低下の▲35.1 を見込んでいます。

○なお今期は、今秋に相次いだ台風や 10 月からの消費税増税の影響を挙げる企業が多く見受けられました。

▼本件に関するお問い合わせ先
（公財）神奈川産業振興センター（KIP）
（Kanagawa Industrial Promotion Center）
事業部経営総合相談課　藤井
TEL 045-633-5201　FAX 045-633-5194
URL https://www.kipc.or.jp/　E-mail:soudan@kipc.or.jp

公益財団法人 神奈川産業振興センター
Kanagawa Industrial Promotion Center

令和元年10-12月期中小企業景気動向調査結果

業況DIは5.6ポイントの低下

公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）が四半期ごとに実施している「中小企業景気動向調査」の令和元年10-12月期の調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。

１．調査要領

・調 査 時 期：令和元年11月
・調 査 対 象：神奈川県内中小企業2,000社
・回答数（率）：1,021社（51.1%）　　※詳細は下記の通り
・調 査 方 法：調査対象へ郵送
・分 析 方 法：DI（Diffusion Index）※による分析
※業況等について「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値

区分	送付数	回答数	回答率（%）
製造業	550	366	66.5％
建設業	250	131	52.4％
商業・サービス業 （卸売業、小売業、飲食店、サービス業）	1,200	524	43.7％
合計	2,000	1,021	51.1％

２．調査結果

（1）総合

	平成31年	令和元年			令和2年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
業況DI	▲17.1	▲20.3	▲27.9	▲33.5	▲32.0	▲35.1
売上DI	▲20.2	▲18.9	▲25.7	▲24.8	－	－
採算DI	▲27.7	▲25.6	▲31.7	▲31.8	－	－

総合の業況DIは、前期比5.6ポイント低下の▲33.5となった。

経営状況では、売上DIは前期比0.9ポイント上昇の▲24.8、また、採算DIは同0.1ポイント低下の▲31.8となった。

今後の業況DIを見ると、3ヵ月後は現在比1.5ポイント上昇の▲32.0、半年後は同1.6ポイント低下の▲35.1を見込んでいる。

（2）業種別特徴

＜製造業＞

	平成31年	令和元年			令和2年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
業況DI	▲4.5	▲14.7	▲24.1	▲30.7	▲34.7	▲37.0
売上DI	▲16.7	▲19.3	▲25.1	▲27.0	－	－
採算DI	▲22.2	▲24.2	▲28.8	▲29.9	－	－

製造業の今期の業況DIは、前期比6.6ポイント低下の▲30.7となった。経営状況では、売上DIは、前期比1.9ポイント低下の▲27.0、採算DIは同1.1ポイント低下の▲29.9となった。「10月になってから急に注文が減り、11月分の見通しがきかない。しばらく様子見。多岐に渡り仕事をしているが、全部の業種が悪い。台風の影響もあるかもしれない。」「台風15号により工場が50cm浸水し、建物と機械設備、製品の在庫、原材料に被害を受けた。その為、製造が出来なくなり9月9日以降の売上げが減少。又、機械設備の修理等の見込みが立っていない。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3ヵ月後は現在比4.0ポイント低下の▲34.7、半年後は同6.3ポイント低下の▲37.0を見込んでおり、「排ガス規制や消費税増税もあって9月までは需要が高かったが、10月以降反動で需要が下降気味。ただし、思ったほどではなさそう。」「客先の来期以降の設備投資計画の情報が流れてこない。中国経済の悪影響により、中国現地工場の投資判断を決めかねているのか（憶測）。」「前期は昨年より6.1%程売上増となりました。増税後は売上高も減少傾向です。HPもリニューアルするので徐々に売上増となる見込です。」といった声も聞かれた。

なお、製造業の中分類の業況DIは以下の通り。

	平成31年	令和元年			令和2年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期見込	4-6月期見込
一般機械	9.0	▲8.5	▲17.9	▲31.5	▲28.1	▲25.8
電気機械	▲10.4	▲22.6	▲33.3	▲35.8	▲30.8	▲32.5
輸送用機械	▲3.4	0.0	▲23.6	▲32.3	▲39.1	▲50.0
その他	▲10.6	▲21.4	▲23.4	▲26.2	▲39.5	▲41.1

中分類で見ると、一般機械は前期比13.6ポイント低下の▲31.5、電気機械は同2.5ポイント低下の▲35.8、 輸送用機械は同8.7ポイント低下の▲32.3となった。

今後の業況DIは、3ヵ月後は一般機械が現在比3.4ポイント上昇の▲28.1、電気機械が同5.0ポイント上昇の▲30.8、 輸送用機械は同6.8ポイント低下の▲39.1、半年後は一般機械が同5.7ポイント上昇の▲25.8、電気機械が同3.3ポイント上昇の▲32.5、 輸送用機械は同17.7ポイント低下の▲50.0を見込んでいる。

＜建設業＞

	平成31年	令和元年			令和2年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期見込	4-6月期見込
業況DI	14.8	0.8	1.7	3.1	▲7.0	▲21.1
売上DI	15.4	▲11.2	▲7.8	0.8	－	－
採算DI	5.2	▲9.8	▲13.0	▲4.6	－	－

建設業の今期の業況DIは、前期比1.4ポイント上昇の3.1となった。

経営状況では、売上DIは前期比8.6ポイント上昇の0.8、採算DIは同8.4ポイント上昇の▲4.6となった。

「台風災害による仕事依頼が増加。人手が足りない。」「台風19号の影響で受注が増、年内は利益が望めます。来春は年度替りで公共の発注は無し。利益減になる見込。」「息子が従業員となり引き合いが増えた。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3ヵ月後は現在比10.1ポイント低下の▲7.0、半年後は同24.2ポイント低下の▲21.1を見込んでおり、「少しずつ競争が激化している。先行きが不透明になってきた。」「一年先くらいの引合いが急減している。今後も心配。」といった声も聞かれた。

＜商業・サービス業＞

	平成31年	令和元年			令和2年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期見込	4-6月期見込
業況DI	▲34.1	▲29.9	▲37.1	▲44.6	▲36.3	▲37.2
売上DI	▲32.2	▲20.6	▲30.2	▲29.6	－	－
採算DI	▲40.0	▲30.8	▲37.9	▲40.1	－	－

商業・サービス業の業況DIは、前期比7.5ポイント低下の▲44.6となった。

経営状況では、売上DIは前期比0.6ポイント上昇の▲29.6、採算DIは同2.2ポイント低下の▲40.1となった。「消費税UPにより、不調。仕入原価が上がっている。輸送コストUP、材料費、組み立て工賃UP。採算に影響大。」「台風の度々の上陸で客足が遠のき、10月の売上は過去最低の状況である。消費税、最低賃金の値上げに加え、原材料も上がり、先行き不安の要素ばかりです。」「神奈川県の最低賃金が、横浜、川崎等と西湘地区が一緒なのは、大変である。また、箱根の交通網が台風の被害により打撃を受けている為、観光客も少ない。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3ヵ月後は現在比8.3ポイント上昇の▲36.3、半年後は同7.4ポイント上昇の▲37.2を見込んでいる。「不況の中でも、業務内容の見直しによる生産性向上、働き方改革、持続可能な仕組みづくり、新店舗への投資。出来る事を着実に進めている。」「店舗販売に向上の様子が少ない。半面ネット通販の増大が予想されます。」といった声も聞かれた。

なお、商業・サービス業の各々の業況DIは以下の通り。

	平成31年	令和元年			令和2年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期見込	4-6月期見込
卸売業	▲26.5	▲16.9	▲16.1	▲34.8	▲36.8	▲41.4
小売業	▲52.6	▲49.8	▲55.0	▲58.0	▲53.2	▲50.9
飲食店	▲37.5	▲10.8	▲40.0	▲53.5	▲43.7	▲40.0
サービス業	▲9.9	▲13.5	▲18.2	▲23.9	▲4.4	▲7.4

業種別では、卸売業は前期比18.7ポイント低下の▲34.8、小売業は同3.0ポイント低下の▲58.0、飲食店は同13.5ポイント低下の▲53.5、サービス業は同5.7ポイント低下の▲23.9となった。

今後の業況DIは、3ヵ月後では卸売業が現在比2.0ポイント低下の▲36.8、小売業は同4.8ポイント上昇の▲53.2、飲食店は同9.8ポイント上昇の▲43.7、サービス業は同19.5ポイント上昇の▲4.4、半年後では卸売業が同6.6ポイント低下の▲41.4、小売業は同7.1ポイント上昇の▲50.9、飲食店は同13.5ポイント上昇の▲40.0、サービス業は同16.5ポイント上昇の▲7.4を見込んでいる。

（３）規模別特徴

		平成31年	令和元年			令和2年	
		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期見込	4-6月期見込
中規模	業況DI	▲12.1	▲14.2	▲24.0	▲30.4	▲28.3	▲31.0
	売上DI	▲14.8	▲12.7	▲21.9	▲20.0	－	－
	採算DI	▲28.2	▲22.4	▲31.3	▲31.9	－	－
小規模	業況DI	▲23.0	▲27.2	▲32.7	▲37.1	▲36.4	▲39.9
	売上DI	▲26.6	▲26.0	▲30.3	▲30.3	－	－
	採算DI	▲27.1	▲29.2	▲32.1	▲31.8	－	－

規模別の業況DIは、中規模企業は前期比6.4ポイント低下の▲30.4、小規模企業は同4.4ポイント低下の▲37.1となった。

経営状況では、中規模企業は売上DIが前期比1.9ポイント上昇の▲20.0、採算DIが同0.6ポイント低下の▲31.9、小規模企業は売上DIが前期と同じ▲30.3、採算DIが同0.3ポイント上昇の▲31.8となった。

今後の業況DIについては、中規模企業は3ヵ月後が現在比2.1ポイント上昇の▲28.3、半年後が同0.6ポイント低下の▲31.0、小規模企業は3ヵ月後が同0.7ポイント上昇の▲36.4、半年後が同2.8ポイント低下の▲39.9を見込んでいる。

（４）地区別特徴（業況DI）

	平成31年	令和元年			令和2年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期見込	4-6月期見込
横浜	▲16.0	▲18.7	▲21.9	▲29.3	▲28.9	▲35.0
川崎	▲16.8	▲12.9	▲23.4	▲27.2	▲30.6	▲32.6
横須賀	▲22.0	▲19.4	▲25.5	▲35.8	▲37.6	▲37.4
平塚	▲17.3	▲22.3	▲30.2	▲29.1	▲28.6	▲39.8
藤沢	▲24.0	▲22.2	▲39.2	▲49.5	▲42.6	▲38.6
相模原	▲11.1	▲23.4	▲28.9	▲36.8	▲30.2	▲32.5
厚木	▲1.8	▲15.9	▲20.9	▲23.4	▲24.3	▲27.9
足柄上・西湘	▲30.2	▲34.0	▲46.5	▲47.1	▲38.2	▲37.8

今期の地区別の業況DIは、
横浜地区（前期比7.4ポイント低下の▲29.3）、川崎地区（同3.8ポイント低下の▲27.2）、横須賀地区（同10.3ポイント低下の▲35.8）、平塚地区（同1.1ポイント上昇の▲29.1）、藤沢地区（同10.3ポイント低下の▲49.5）、相模原地区（同7.9ポイント低下の▲36.8）、厚木地区（同2.5ポイント低下の▲23.4）、足柄上・西湘地区（同0.6ポイント低下の▲47.1）となり　1地区で上昇し、7地区で低下となった。
今後の業況DIは、3か月後は、
横浜地区（現在比0.4ポイント上昇の▲28.9）、川崎地区（同3.4ポイント低下の▲30.6）、横須賀地区（同1.8ポイント低下の▲37.6）、平塚地区（同0.5ポイント上昇の▲28.6）、藤沢地区（同6.9ポイント上昇の▲42.6）、相模原地区（同6.6ポイント上昇の▲30.2）、厚木地区（同0.9ポイント低下の▲24.3）、足柄上・西湘地区（同8.9ポイント上昇の▲38.2）となり5地区で上昇し、3地区で低下すると見込んでいる。
半年後は、
横浜地区（現在比5.7ポイント低下の▲35.0）、川崎地区（同5.4ポイント低下の▲32.6）、横須賀地区（同1.6ポイント低下の▲37.4）、平塚地区（同10.7ポイント低下の▲39.8）、藤沢地区（同10.9ポイント上昇の▲38.6）、相模原地区（同4.3ポイント上昇の▲32.5）、厚木地区（同4.5ポイント低下の▲27.9）、足柄上・西湘地区（同9.3ポイント上昇の▲37.8）となり3地区で上昇し、5地区で低下すると見込んでいる。

▼本件に関するお問い合わせ先
（公財）神奈川産業振興センター（KIP）
（Kanagawa Industrial Promotion Center）
事業部経営総合相談課　藤井
TEL:045-633-5201　FAX:045-633-5194
URL https://www.kipc.or.jp/　E-mail:soudan@kipc.or.jp

景気動向調査　（令和元年10月～12月期）

業種別DI表

		製造業	建設業	商業・サービス業					総合
				卸売業	小売業	飲食店	ｻｰﾋﾞｽ業	小計	
回収数		366	131	92	226	71	135	524	1,021
業況判断	現在の業況	▲30.7	3.1	▲34.8	▲58.0	▲53.5	▲23.9	▲44.6	▲33.5
	３ヶ月後の業況	▲34.7	▲7.0	▲36.8	▲53.2	▲43.7	▲4.4	▲36.3	▲32.0
	半年後の業況	▲37.0	▲21.1	▲41.4	▲50.9	▲40.0	▲7.4	▲37.2	▲35.1
経営状況	売上	▲27.0	0.8	▲25.0	▲39.4	▲45.1	▲6.5	▲29.6	▲24.8
	採算	▲29.9	▲4.6	▲29.3	▲44.7	▲54.9	▲31.5	▲40.1	▲31.8
	引き合い／客数	▲22.5	1.6	▲23.9	▲40.7	▲35.7	▲23.0	▲32.5	▲24.6
	単価	▲12.7	▲2.3	▲16.3	▲30.0	▲10.0	▲25.6	▲23.7	▲17.0
	仕入価格	▲38.0	▲46.9	▲48.9	▲48.9	▲70.4	▲28.6	▲46.6	▲43.6
	資金繰り	▲27.2	▲5.3	▲30.4	▲36.7	▲43.7	▲23.7	▲33.2	▲27.5
	残業	▲27.9	▲6.9	1.1	▲14.7	▲25.0	▲26.9	▲16.4	▲19.4
	設備稼働	▲26.9	▲1.6	－	－	－	－	－	▲20.5
前期経営実績	売上水準	▲21.9	5.3	▲14.1	▲39.4	▲33.8	▲19.5	▲29.1	▲22.1
	利益水準	0.8	16.8	0.0	▲26.7	▲31.0	▲17.9	▲20.3	▲8.0
	在庫	12.9	▲2.6	5.6	5.4	▲1.4	▲41.1	▲7.3	0.5
	投資	▲10.2	▲4.8	▲5.6	▲21.3	▲17.4	▲18.0	▲17.2	▲13.1
	雇用状況	▲13.5	▲50.8	▲23.3	▲15.2	▲33.3	▲30.3	▲23.0	▲23.2

参考＜前回調査＞　景気動向調査　（令和元年7月～9月期）

		製造業	建設業	商業・サービス業					総合
				卸売業	小売業	飲食店	ｻｰﾋﾞｽ業	小計	
回収数		366	116	87	231	70	133	521	1,003
業況判断	現在の業況	▲24.1	1.7	▲16.1	▲55.0	▲40.0	▲18.2	▲37.1	▲27.9
	３ヶ月後の業況	▲30.1	▲2.6	▲37.2	▲60.8	▲42.0	▲2.3	▲39.3	▲31.7
	半年後の業況	▲30.0	▲13.2	▲40.5	▲66.2	▲46.4	▲8.3	▲45.3	▲35.9
経営状況	売上	▲25.1	▲7.8	▲9.2	▲45.2	▲41.4	▲10.0	▲30.2	▲25.7
	採算	▲28.8	▲13.0	▲30.2	▲44.3	▲34.8	▲33.1	▲37.9	▲31.7
	引き合い／客数	▲17.3	▲2.6	▲12.6	▲47.2	▲37.7	▲23.3	▲34.0	▲24.2
	単価	▲12.6	0.9	▲19.5	▲33.6	▲33.8	▲26.2	▲29.4	▲19.7
	仕入価格	▲42.2	▲51.7	▲47.1	▲46.5	▲72.5	▲23.1	▲44.2	▲44.3
	資金繰り	▲22.1	▲9.5	▲18.4	▲37.0	▲31.9	▲22.6	▲29.5	▲24.5
	残業	▲24.9	▲9.5	▲9.2	▲15.9	▲14.5	▲23.7	▲16.6	▲18.8
	設備稼働	▲22.3	▲5.5	－	－	－	－	－	▲18.4
前期経営実績	売上水準	▲17.5	0.0	▲20.7	▲45.9	▲30.4	▲17.3	▲32.3	▲23.2
	利益水準	0.8	15.5	9.2	▲31.3	▲7.2	▲17.6	▲17.8	▲7.1
	在庫	7.6	0.0	12.9	8.4	4.4	▲37.5	▲3.0	1.2
	投資	▲7.4	▲0.9	▲1.2	▲17.0	▲5.9	▲25.8	▲15.2	▲10.7
	雇用状況	▲21.1	▲49.6	▲14.0	▲13.1	▲37.7	▲24.8	▲19.6	▲23.6

規模別DI表

		製造業		建設業		商業・サービス業		総合	
		中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業
回収数		192	174	62	69	297	227	551	470
業況判断	現在の業況	▲26.0	▲35.8	6.5	0.0	▲40.9	▲49.3	▲30.4	▲37.1
	３ヶ月後の業況	▲35.3	▲34.1	▲1.6	▲11.8	▲29.3	▲45.7	▲28.3	▲36.4
	半年後の業況	▲37.6	▲36.5	▲11.5	▲29.9	▲30.7	▲45.6	▲31.0	▲39.9
経営状況	売上	▲25.5	▲28.7	12.9	▲10.1	▲23.4	▲37.7	▲20.0	▲30.3
	採算	▲31.8	▲27.9	0.0	▲8.7	▲38.8	▲41.8	▲31.9	▲31.8
	引き合い／客数	▲21.4	▲23.8	11.5	▲7.4	▲27.7	▲38.8	▲21.1	▲28.7
	単価	▲10.9	▲14.6	3.2	▲7.4	▲19.0	▲30.0	▲13.7	▲21.0
	仕入価格	▲36.5	▲39.8	▲50.0	▲44.1	▲45.2	▲48.5	▲42.7	▲44.6
	資金繰り	▲22.4	▲32.6	3.2	▲13.0	▲31.6	▲35.2	▲24.5	▲31.0
	残業	▲27.6	▲28.3	▲3.2	▲10.1	▲15.8	▲17.4	▲18.5	▲20.4
	設備稼働	▲25.5	▲28.5	1.6	▲4.8	—	—	▲19.0	▲22.1
前期経営実績	売上水準	▲19.3	▲24.9	8.1	2.9	▲20.9	▲39.8	▲17.1	▲28.0
	利益水準	10.4	▲9.9	30.6	4.3	▲9.5	▲34.5	2.0	▲19.7
	在庫	19.8	4.9	▲1.7	▲3.4	▲8.3	▲5.9	2.3	▲1.6
	投資	▲9.4	▲11.2	3.3	▲12.3	▲11.0	▲25.5	▲8.8	▲18.2
	雇用状況	▲16.1	▲10.5	▲53.2	▲48.5	▲27.8	▲16.6	▲26.6	▲19.1

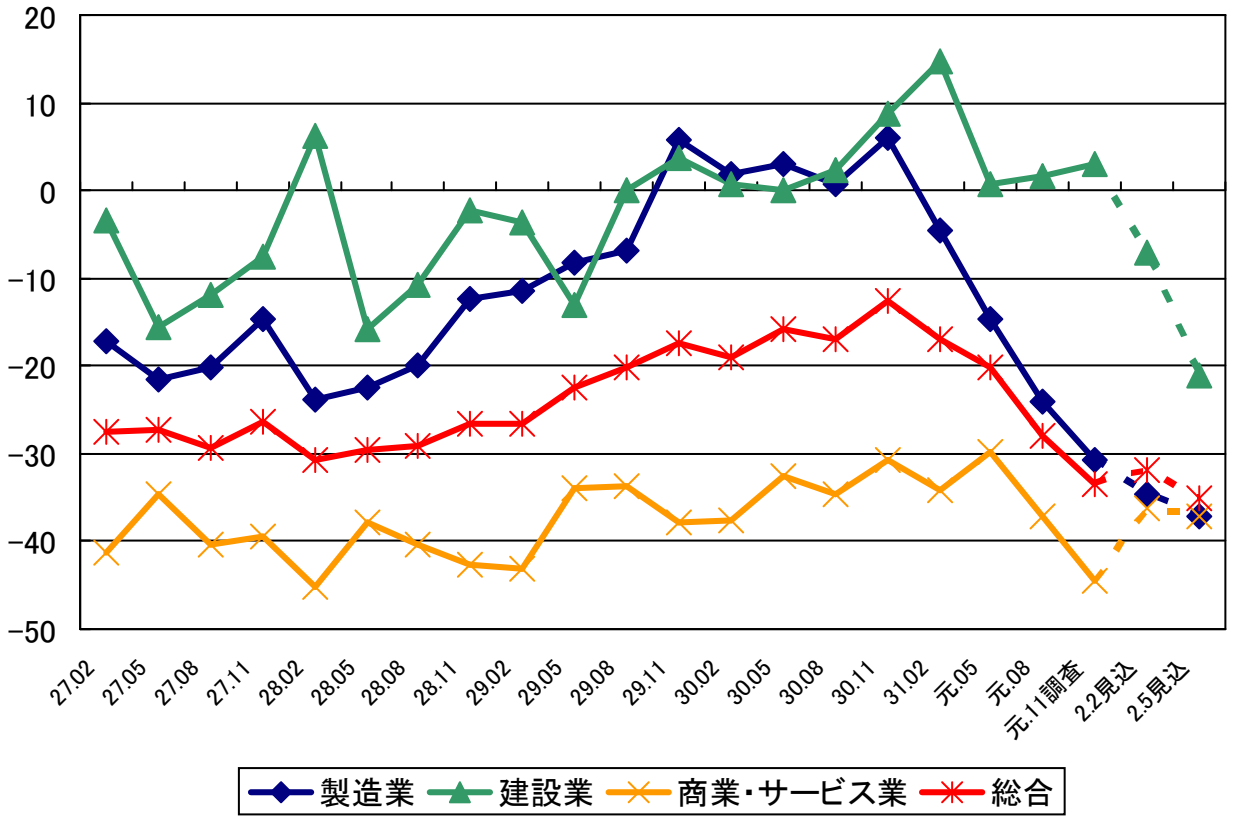
地区別DI表

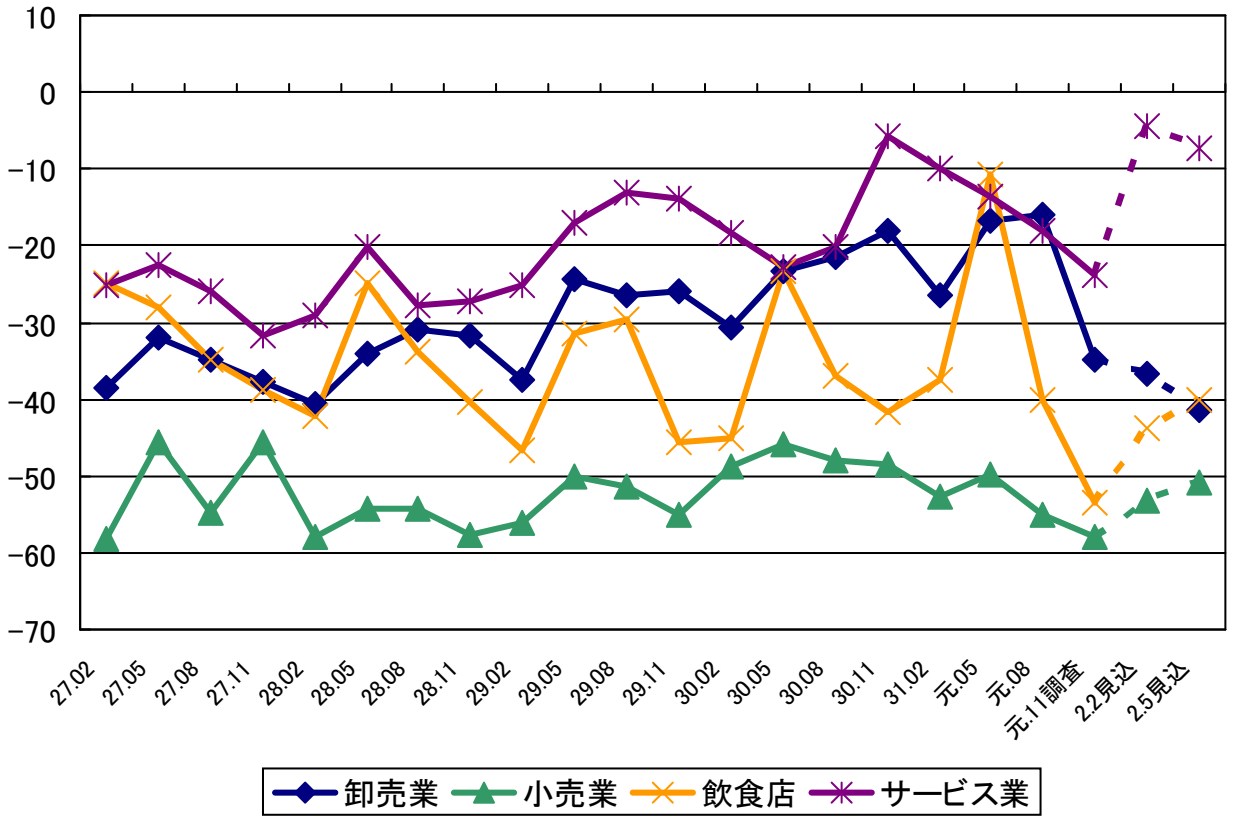
		横浜	川崎	横須賀	平塚	藤沢	相模原	厚木	足柄上・西湘	総合
回収数		270	136	109	103	101	87	112	103	1,021
業況判断	現在の業況	▲29.3	▲27.2	▲35.8	▲29.1	▲49.5	▲36.8	▲23.4	▲47.1	▲33.5
	３ヶ月後の業況	▲28.9	▲30.6	▲37.6	▲28.6	▲42.6	▲30.2	▲24.3	▲38.2	▲32.0
	半年後の業況	▲35.0	▲32.6	▲37.4	▲39.8	▲38.6	▲32.5	▲27.9	▲37.8	▲35.1
経営状況	売上	▲21.1	▲17.0	▲28.0	▲28.2	▲35.6	▲27.9	▲23.4	▲25.5	▲24.8
	採算	▲31.2	▲30.9	▲33.3	▲36.9	▲36.0	▲25.6	▲28.8	▲32.7	▲31.8
	引き合い／客数	▲23.3	▲15.4	▲29.4	▲19.4	▲35.0	▲29.9	▲21.4	▲29.1	▲24.6
	単価	▲12.6	▲9.0	▲21.7	▲22.3	▲21.2	▲14.9	▲16.2	▲27.2	▲17.0
	仕入価格	▲43.1	▲44.8	▲50.0	▲49.5	▲43.0	▲39.5	▲35.7	▲43.1	▲43.6
	資金繰り	▲25.3	▲18.5	▲31.2	▲23.3	▲27.7	▲35.6	▲24.1	▲41.7	▲27.5
	残業	▲18.0	▲14.2	▲11.0	▲12.6	▲30.0	▲30.6	▲26.9	▲17.6	▲19.4
	設備稼働	▲21.6	▲15.4	▲22.4	▲23.5	▲40.5	▲15.7	▲21.7	▲4.4	▲20.5
前期経営実績	売上水準	▲17.5	▲17.0	▲19.4	▲30.1	▲33.7	▲19.5	▲15.2	▲34.0	▲22.1
	利益水準	0.7	0.7	▲14.8	▲16.5	▲15.0	▲12.6	6.3	▲31.1	▲8.0
	在庫	▲0.8	1.5	▲3.8	▲1.0	▲1.0	5.9	2.8	3.0	0.5
	投資	▲12.6	▲9.0	▲9.3	▲11.9	▲21.2	▲10.6	▲14.5	▲17.6	▲13.1
	雇用状況	▲26.0	▲24.1	▲36.8	▲26.7	▲19.2	▲15.3	▲19.1	▲11.8	▲23.2

製造業中分類別DI表

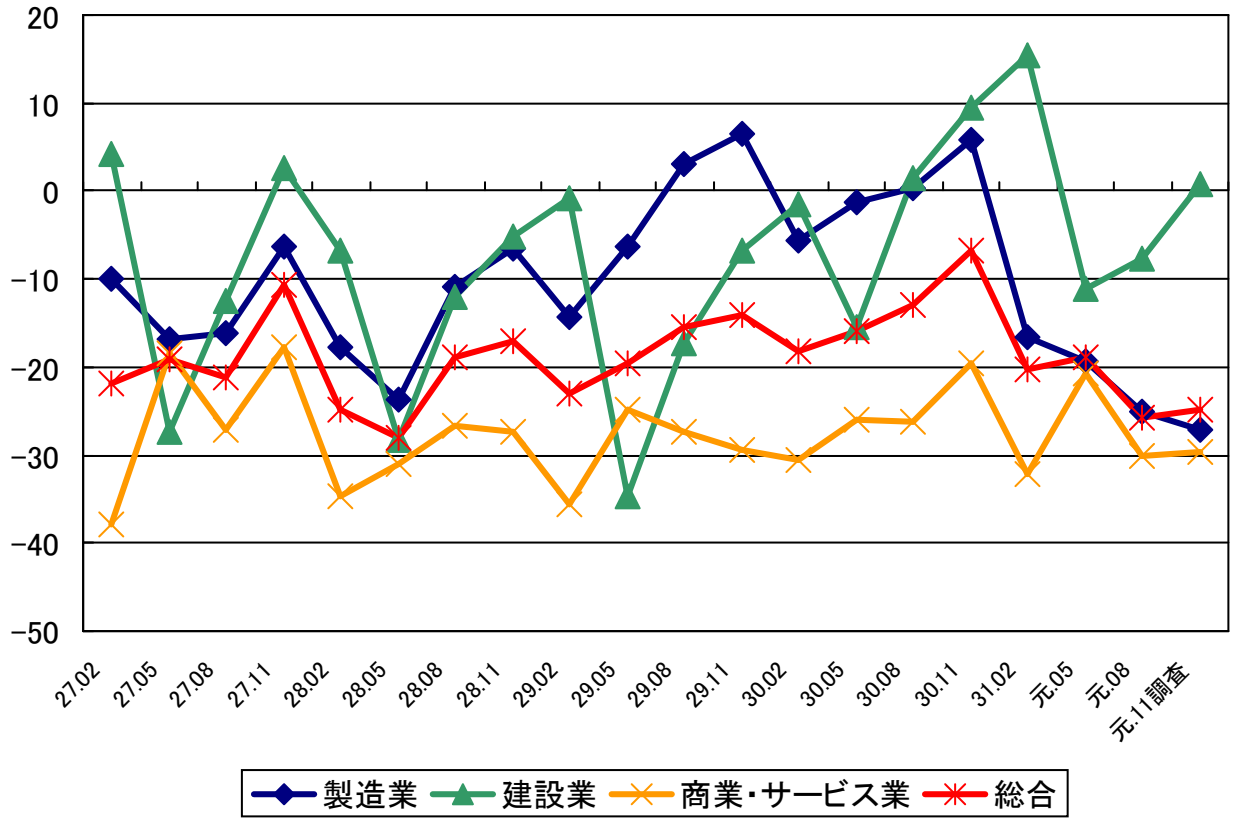
		一般機械	電気機械	輸送用機械	その他	総合
回収数		89	81	65	131	366
業況判断	現在の業況	▲31.5	▲35.8	▲32.3	▲26.2	▲30.7
	３ヶ月後の業況	▲28.1	▲30.8	▲39.1	▲39.5	▲34.7
	半年後の業況	▲25.8	▲32.5	▲50.0	▲41.1	▲37.0
経営状況	売上	▲24.7	▲27.2	▲24.6	▲29.8	▲27.0
	採算	▲28.1	▲28.4	▲38.5	▲27.9	▲29.9
	引き合い／客数	▲28.4	▲14.8	▲23.1	▲23.1	▲22.5
	単価	▲15.7	▲7.4	▲12.5	▲14.0	▲12.7
	仕入価格	▲32.6	▲37.0	▲46.9	▲38.0	▲38.0
	資金繰り	▲27.0	▲19.8	▲39.1	▲26.2	▲27.2
	残業	▲27.0	▲27.2	▲44.6	▲20.8	▲27.9
	設備稼働	▲24.7	▲25.9	▲40.0	▲22.5	▲26.9
前期経営実績	売上水準	▲25.8	▲22.2	▲17.2	▲21.4	▲21.9
	利益水準	▲5.6	11.1	4.7	▲3.1	0.8
	在庫	9.6	11.1	13.3	16.0	12.9
	投資	▲1.1	▲19.8	▲4.7	▲13.2	▲10.2
	雇用状況	▲15.9	▲13.6	▲20.3	▲8.5	▲13.5

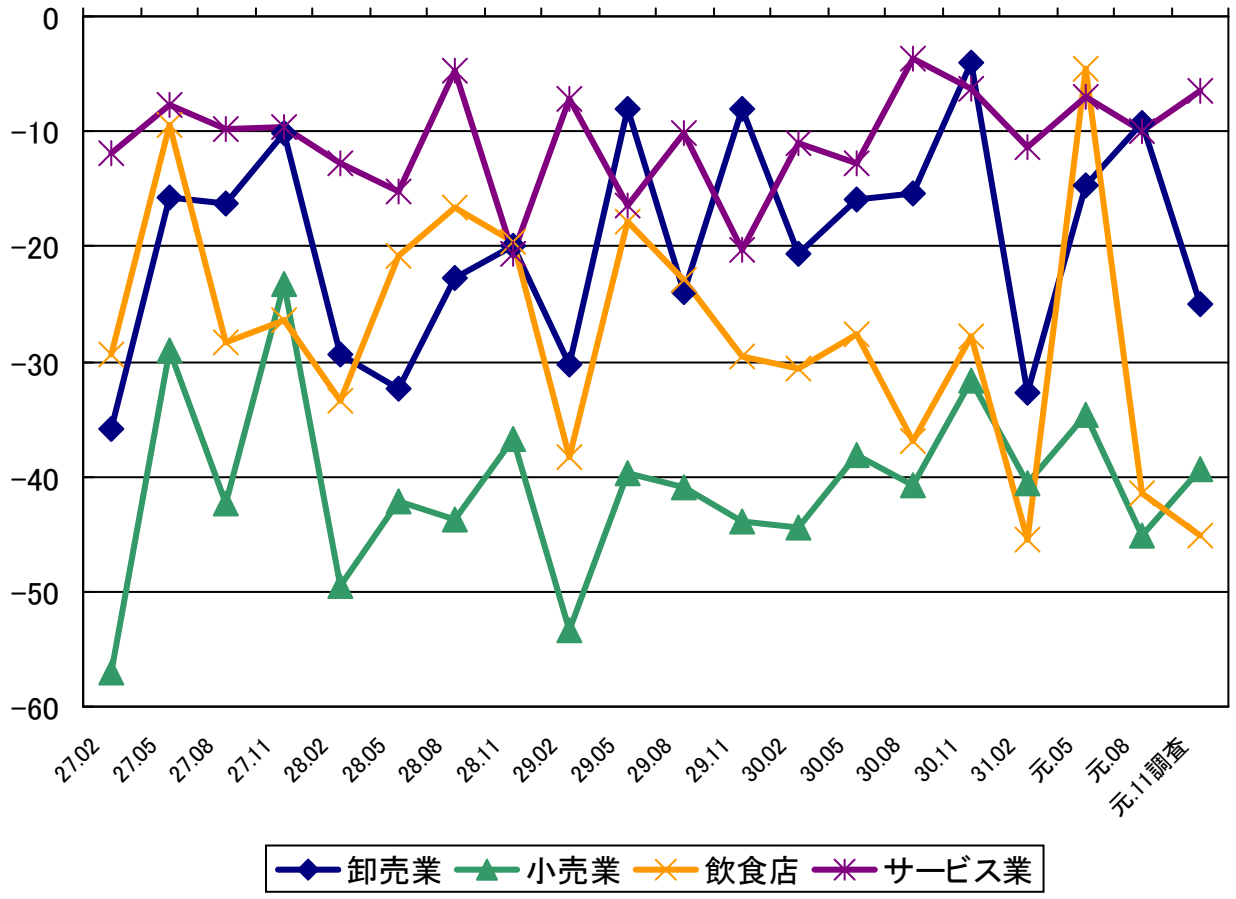
業況DIの推移


20
10
0
−10
−20
−30
−40
−50
27.02
27.05
27.08
27.11
28.02
28.05
28.08
28.11
29.02
29.05
29.08
29.11
30.02
30.05
30.08
30.11
31.02
元.05
元.08
元.11調査
2.2見込
2.5見込
製造業
建設業
商業・サービス業
総合

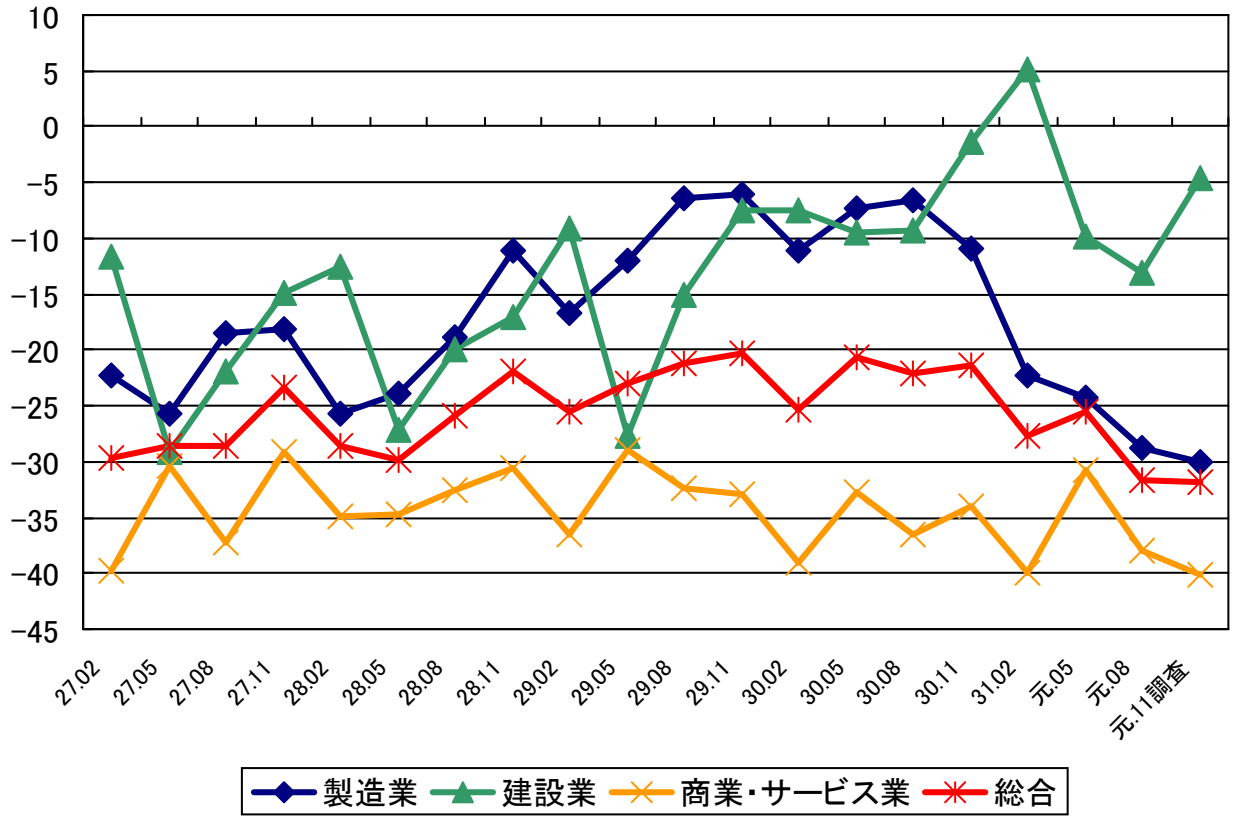

10
0
−10
−20
−30
−40
−50
−60
−70
27.02
27.05
27.08
27.11
28.02
28.05
28.08
28.11
29.02
29.05
29.08
29.11
30.02
30.05
30.08
30.11
31.02
元.05
元.08
元.11調査
2.2見込
2.5見込
卸売業
小売業
飲食店
サービス業

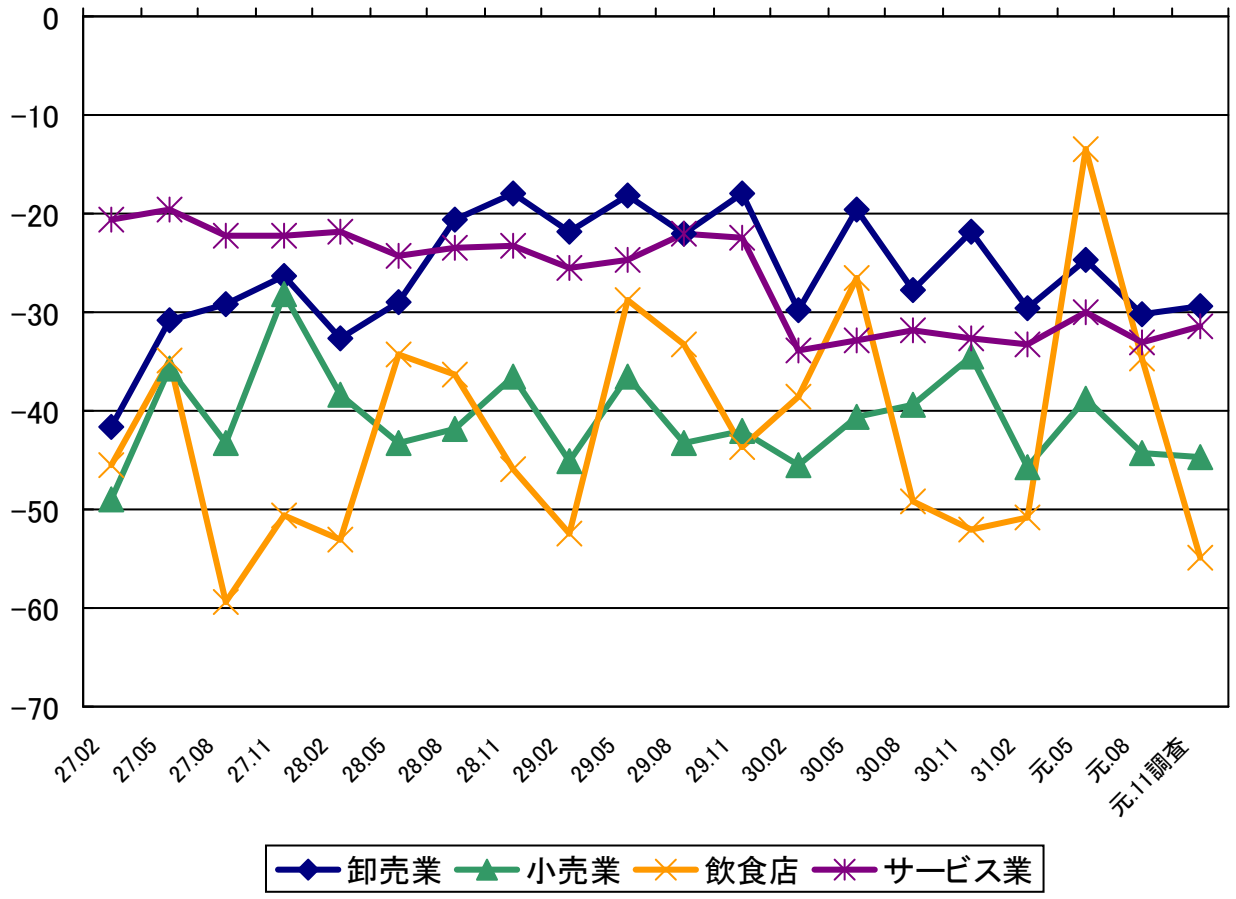
売上DIの推移


20
10
0
−10
−20
−30
−40
−50
27.02
27.05
27.08
27.11
28.02
28.05
28.08
28.11
29.02
29.05
29.08
29.11
30.02
30.05
30.08
30.11
31.02
元.05
元.08
元.11調査
製造業
建設業
商業・サービス業
総合

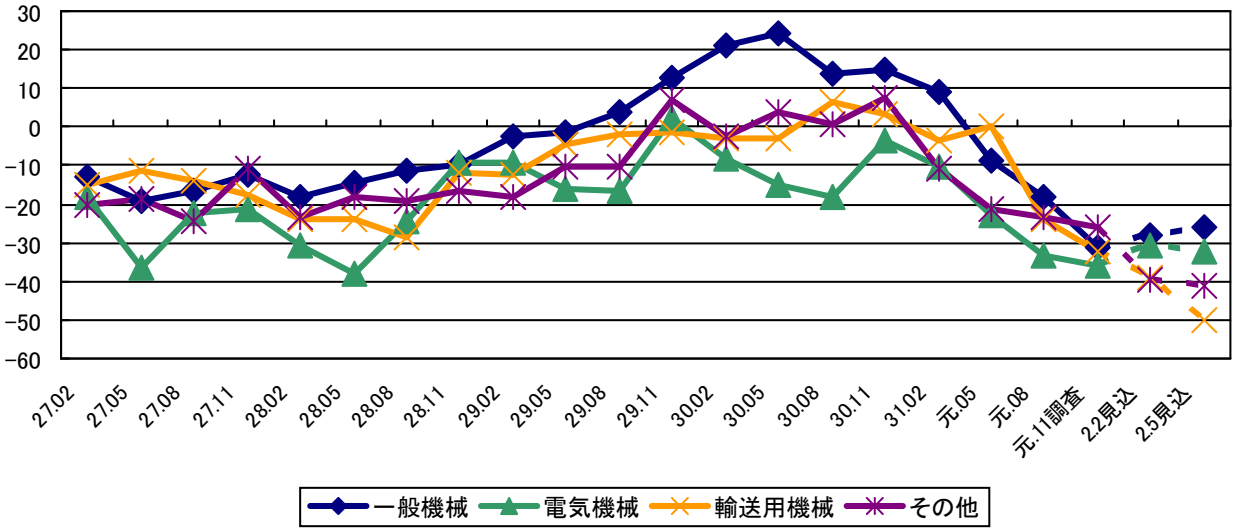

0
−10
−20
−30
−40
−50
−60
27.02
27.05
27.08
27.11
28.02
28.05
28.08
28.11
29.02
29.05
29.08
29.11
30.02
30.05
30.08
30.11
31.02
元.05
元.08
元.11調査
卸売業
小売業
飲食店
サービス業

採算DIの推移

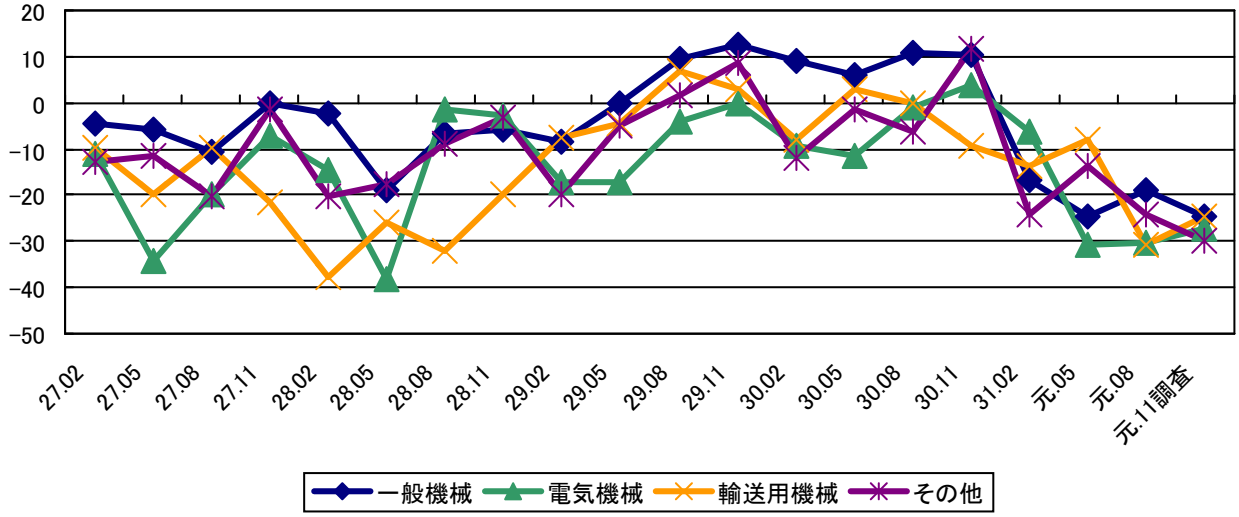

10
5
0
−5
−10
−15
−20
−25
−30
−35
−40
−45
27.02
27.05
27.08
27.11
28.02
28.05
28.08
28.11
29.02
29.05
29.08
29.11
30.02
30.05
30.08
30.11
31.02
元.05
元.08
元.11調査
製造業
建設業
商業・サービス業
総合


0
−10
−20
−30
−40
−50
−60
−70
27.02
27.05
27.08
27.11
28.02
28.05
28.08
28.11
29.02
29.05
29.08
29.11
30.02
30.05
30.08
30.11
31.02
元.05
元.08
元.11調査
卸売業
小売業
飲食店
サービス業

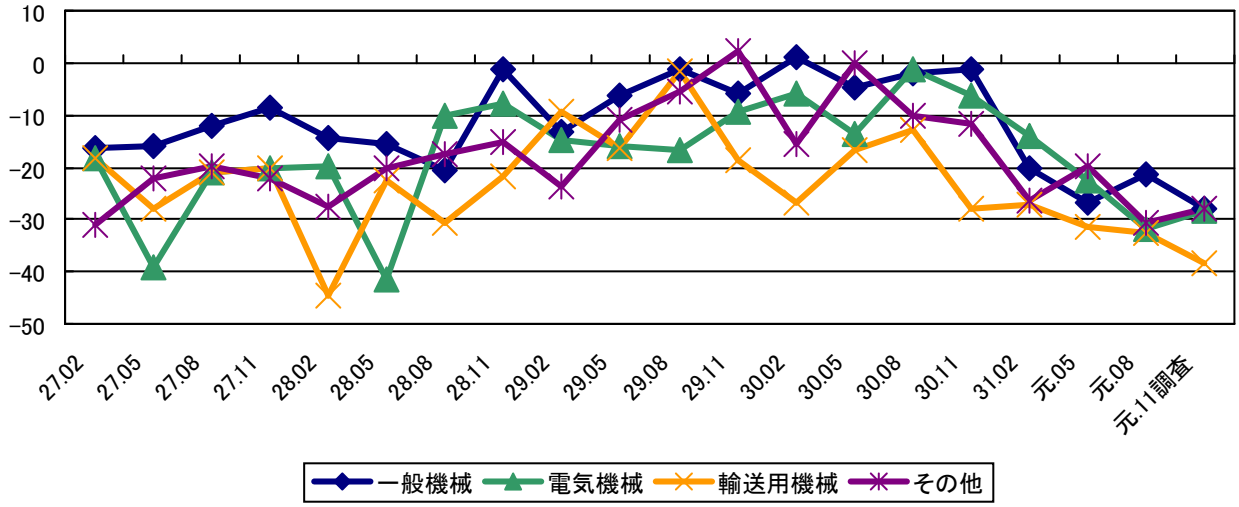
製造業（中分類）業況DIの推移



製造業（中分類）売上DIの推移



製造業（中分類）採算DIの推移



調査回答企業からのコメント(一部)

＜製造業＞

「慢性的な売上げ減少となり、消費税増税となり益々売上減少が続いている。」
「排ガス規制や消費税増税もあって9月までは需要が高かったが、10月以降反動で需要が下降気味。ただし、思ったほどではなさそう。」
「先の事は、見えるような見えないような良く分からない状況です。」
「10月になってから急に注文が減り、11月分の見通しがきかない。しばらく様子見。多岐に渡り仕事をしているが、全部の業種が悪い。台風の影響もあるかもしれない。」
「米、中の貿易問題、英国のEU離脱問題、世界経済の低迷等、今後の見通しは立たない。」
「社内、生産工場老朽化により、建直しまで規模縮小。」
「例年、年末は受注が増えるが、その分年明けの減少が心配なところ。中国の技術向上とコストに対抗するためコスト（単価）を下げざる得ない。」
「消費税の値上げ前のかけ込み需要も目立った動きない。売上は昨年より、やや低調に推移。」
「客先の来期以降の設備投資計画の情報が流れてこない。中国経済の悪影響により、中国現地工場の投資判断を決めかねているのか（憶測）。」
「来年以降も低調さは続く見通しです。先行きが読めない状況が続いています。」
「前期は昨年より6.1%程売上増となりました。増税後は売上高も減少傾向です。HPもリニューアルするので徐々に売上増となる見込です。」
「台風15号により工場が50cm浸水し、建物と機械設備、製品の在庫、原材料に被害を受けた。その為、製造が出来なくなり9月9日以降の売上げが減少。又、機械設備の修理等の見込みが立っていない。」

＜建設業＞

「少しずつ競争が激化している。先行きが不透明になってきた。」
「台風災害による仕事依頼が増加。人手が足りない。」
「一年先くらいの引合いが急減している。今後も心配。」
「オリンピック後どうなるか心配である。官公庁の発注次第でどうなるか。」
「マンション(新築・改修共に）好調。」
「後継者を育成出来ず、現状のまま、ジリ貧です。」
「引合はあるが人手不足により受注ができない。」
「台風19号の影響で受注が増、年内は利益が望めます。来春は年度替りで公共の発注は無し。利益減になる見込。」
「息子が従業員となり引き合いが増えた。」
「今後の見通しは、増税の影響で住宅の販売が落ちてきて、それに伴い造成、外構工事などの受注件数は減少している。」
「人材の募集を行っているが、なかなか良い人材の採用が出来ない。」
「親会社よりの仕事量の減少。見積額もある程度より上は、相見積と全体的にも、よりシビアになっている。作業のコストダウンが重要。」

＜卸売業＞

「9月9日の台風で社屋、倉庫が床上浸水し、今後保険や助成金の行方が心配です。また、得意先の重工業の景気が先行きがわかりません。」
「台風15号による浸水のため、9、10月は厳しい状況。」
「9月は消費税駆け込み需要あり。10月は反動減。」
「売上は維持できているが、人件費、運賃等を価格に転嫁できず、収益が上がらない。」
「業績は緩やかな右上がり。不安材料として、利益率の低下・若手の育成（人材不足）・資金繰り（手形が増えている。）」
「消費税＋働き方改革等でコスト増。」
「例年は、夏季の売上が好調の傾向だったが、今年は想定外というレベルの不調でした。天候不順、台風の影響は大きかったと感じます。」
「消費税UPにより、不調。仕入原価が上がっている。輸送コストUP、材料費、組み立て工賃UP。採算に影響大。」
「10月の増税の影響が多くなっている。」
「台風の災害の影響が大きい。」
「台風19号の影響により、個人客減。セーフティネットや補助金（各種）についても時間的労力増の為、難しい。」
「現況も先行きも、引き続き厳しい状況です。」
「台風、増税により下がる予想をしていたが、好調にきている。来期以降は、予想がつかない↓。」
「10月に入り、注文止まりました。年末にかけて良い予想。取引先からもよい情報ありません。」

調査回答企業からのコメント（一部）

＜小売業＞

「増税、台風、大雨の影響は大きいです。」
「年末に向けて考えていた所、10月12日の台風19号にトタン屋根をはがされてしまい、店の中が雨漏りをして休まざる得ない。ブルーシートでは雨漏りは止まらない。11月15日頃まで屋根が出来ないので、考えることが出来ない。」
「近くに大型店が増え、お客様の流れが変わってきた。」
「前期は天候不順により不調です。今期は野菜・果実が台風被害及び寒さにより値上がりしたため、売上が増えています。」
「インターネットの普及、子育て（お母様方）、学生（小遣いがインターネットの使用料が多くなり書籍に廻らない。）最低賃金法の改悪。」
「最低賃金の上昇。台風19号の影響等、不安がいっぱい。」
「カード決済の手数料が、たばこや本、SALE品にもかかってきてしまい、国の言う通り行ったら、カードのキャッシングがどんどん増えてしまっています。」
「台風15号、19号により切花の被害が大きく今後の品不足や品質の低下等により販売は苦戦し、業績は悪化すると思われます。」
「全く先が見えません。市の1等地に店が在りますが、商店街は閑散として人通りも少ないです。お客様も購買意欲を感じられません。近くの老舗も完全閉店となり、益々人通りが悪くなるのではと心配です。」
「消費税10%がボディブローのように効いてきている。」
「10月消費税UPにより（9月末まで駆け込みはあったが）物販は極度に客数が減り、又、異常気象も重なり買物意欲が全くない。」
「台風の度々の上陸で客足が遠のき、10月の売上は過去最低の状況である。消費税、最低賃金の値上げに加え、原材料も上がり、先行き不安の要素ばかりです。」
「不況の中でも、業務内容の見直しによる生産性向上、働き方改革、持続可能な仕組みづくり、新店舗への投資。出来る事を着実に進めている。」
「神奈川県の最低賃金が、横浜、川崎等と西湘地区が一緒なのは、大変である。また、箱根の交通網が台風の被害により打撃を受けている為、観光客も少ない。」
「店舗販売に向上の様子が少ない。半面ネット通販の増大が予想されます。」

＜飲食店＞

「台風19号による被害！！。電車、道路。」
「消費税の2%の上りが、これほど景気に響くとは思っていなかった。客単価が上がっている。」
「人手がなく、募集しても中々難しい。」
「人件費の高騰により、人件費率が多くなり、厳しい。」
「週末の雇用状況が厳しく、家族で対応しなければならない時があるが、客単価が高く（追加が増えている）なっているので、売上増が続いている。」
「本年は特に7月～9月の天候不順。また、その後の台風の連続影響が大でした。」
「天候不順もあり、お客様の客足が悪くなっている。」
「とにかく人手不足。」
「大型店が近くに出来た。最低賃金が上がり苦しい。」
「社会保険等の人件費、固定資産税は、売上に関係なく支払うのが大変。台風等の天候に左右され、人手自体が少なく、従業員を急に減らす事もできず！！。」

＜サービス業＞

「最低賃金上昇、新規入校者減少により、支出増、収入減で利益減が不安。」
「雇用側は高齢になり能率も悪い。にもかかわらず、最低賃金が上昇。全く何らかの仕事の在り方、雇用方法を変えなければと不安です。」
「「若者の車離れ」が峠を越した、との話も聞かれるが、現場の整備工場は、引き続き厳しい経営である。更にご高齢の方が車を手放す事が多く、厳しさに拍車をかける。」
「消費税アップにより、仕入価格がやや上がり気味です。」
「派遣スタッフの採用費が高騰しており、利益を圧迫している。」
「団体予約がない、料金を下げないとお客様が入らない。宴会費が出ない。台風の影響も大きくイベントがすべて中止に成った。」
「幸運にも今期は利益を上げているが、客数が減少しており、今後はかなり厳しい状況が予想される。」
「現在、設備投資行っています。」
「人手不足が深刻です。官庁の仕事が少なすぎて、民間の単価は安すぎとなっているので、この先が不安で廃業を考えています。」
「最低賃金が上がり、人件費が増える方向。人手不足で採用経費が増す。」